様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和4年6月8日

部局等名	市民安全部	課かい名	防災対策課	推進責任者氏名	寺島　哲

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	物品等について計画的に購入し、在庫管理を行い、不用品が出ないように徹底を図った。ファイルや封筒などの再利用な可能な事務用品について、再利用の徹底を図った。執務室内のゴミ箱の燃えるゴミやプラスチックごみの分別を徹底し、適切に処理した。
	具体的内容	事務用品の再利用、ごみの分別の徹底	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	設備機器の省エネの呼びかけや職員の意識の徹底を実施した。また安全運転にかかる職員の意識向上及び公用車の効率的な利用を図った。
	具体的内容	電子機器等の使用の工夫、公用車を使用する際のアイドリングストップ、急発信、急制動の抑制	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	供覧文書の裏紙活用、ロゴチャットを活用した電子データの共有や業務連絡を積極的に実施した。WEB会議の推進により、紙資料の削減を図った。
	具体的内容	ペーパーレス化の推進、印刷物の削減	

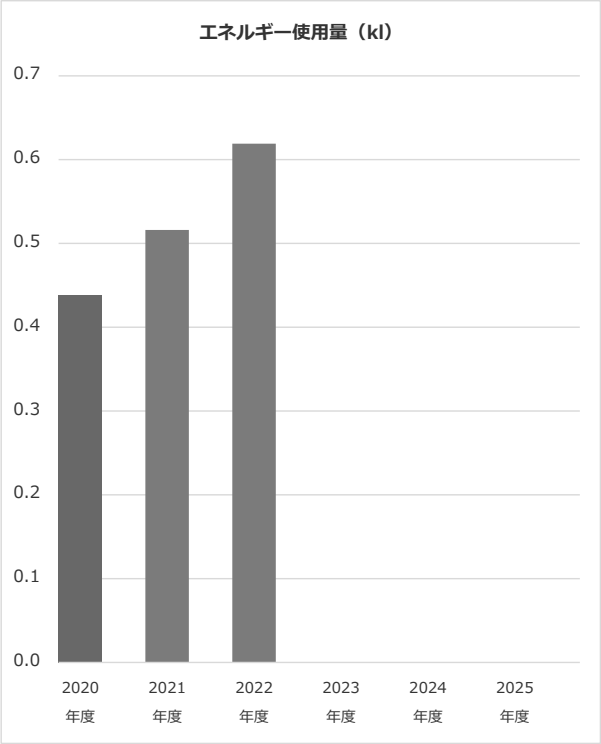
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比　20.0% %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	小桜町防災倉庫は選挙における投票所として利用しており、令和3年度は選挙が実施されず投票所として利用されなかったのに対し、令和4年度は2回利用されたため。また、補助金を活用し避難所の感染対策充実のため、多くの資機材を購入したことで、倉庫への搬入作業等が多く発生したため。		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	17.0	20.0	24.0			
エネルギー使用量（kl）	0.4	0.5	0.6	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	17.6%	20.0%	-100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	小桜町防災倉庫	計画	施設利用者への、空調、照明利用の省エネ協力の呼びかけを実施する
		実績	施設利用者に対して、紙面等で呼びかけを実施した。
2	北部地区防災備蓄倉庫	計画	施設利用者への、空調、照明利用の省エネ協力の呼びかけを実施する
		実績	施設利用者に対して、紙面等で呼びかけを実施した。
3		計画	
		実績	

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	７月上旬に課内にて共有及び研修を実施した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	７月上旬に課内にて共有及び研修を実施した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
■ 関係する指定管理者・委託業者はない □ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月13日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減の目標に向かって取組みを進めてきたが、補助金を活用し避難所の感染対策充実のため、多くの資機材を購入したことで、小桜町防災倉庫と北部地区防災備蓄倉庫に収納のための作業が多くなり電気代が増える要因となったことは事実としてあるが、毎朝のミーティングを活用し、省エネの徹底や安全運転についてしっかり取り組むことについては、課内でしっかり共有できたと感じている。	今後もエネルギーの削減を意識した行動を課内職員一丸となって取組めるよう、一人一人が自覚するとともに、朝のミーティングを通じて共有していく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和5年3月2日

部局等名	市民安全部	課かい名	安全対策課	推進責任者氏名	熊切 純一

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	個人情報等の内容が記載された紙については、シュレッダーにて廃棄する場面もあったが、原則、裏紙等として再利用するなど紙資源の有効活用に努めた。今後もこの内容を推進していく。
	具体的内容	名刺サイズより大きい紙資源は、封筒にまとめて資源ごみにして捨てる	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	昼休憩及び外出する際には、全職員が積極的にPCを閉じてエネルギーの削減に努めることができた。今後は、PC以外に余剰にエネルギーを使用しているものがないか確認していく。
	具体的内容	昼休憩などの際は、PCを閉じてエネルギーの削減に努める	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	消耗品に関しては、無理に購入せず既存で購入しているものから使用するように心掛けた。
	具体的内容	在庫で残っているボールペン等の物品から積極的に消耗していき新しい物品の購入を控える	

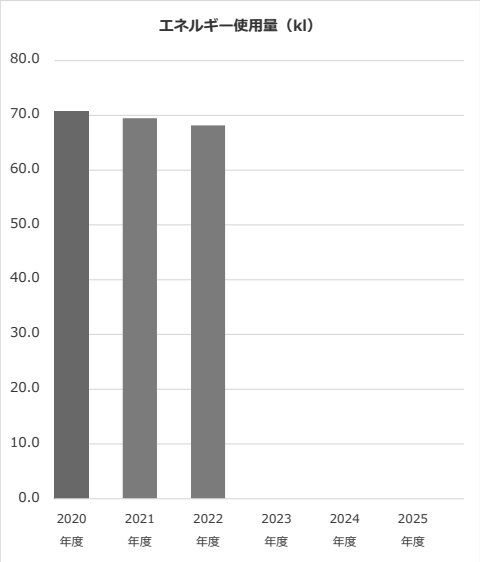
【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

実績	前年度比 −1.9% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底したため		

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	2740.0	2693.0	2642.3			
エネルギー使用量（kl）	70.7	69.5	68.2	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	−1.7%	−1.9%	−100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	東海岸南自動車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
2	新栄町第一自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
3	新栄町第二自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
4	新栄町第三自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
5	ツインウェイヴ北自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
6	ツインウェイヴ南自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
7	幸町自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
8	共恵自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。
9	本宿町自転車駐車場	計画	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底する。
		実績	空調及び照明利用について、省エネ利用を徹底できた。

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	令和4年4月1日実施。（対象者全員参加） 今年度の重点取組項目及び取組項目の内容について確認した。
法令遵守確認研修	■ 実施	令和4年4月1日実施。（対象者全員参加） 法令遵守内容について確認し、対応すべきことを確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	令和4年4月1日実施。（対象者全員参加） C-EMSにおける具体的な取組内容及び目標達成に向けた取組について確認した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月10日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
課員一人ひとりが資源の有効活用に関する意識を常に持ち、業務を遂行できている。裏紙の利用や印刷枚数を削減する工夫を試みるなどの取組みが浸透しているほか、電子を積極的に駆使して、紙媒体をなるべく使用しないような状況も散見される。また、離席する際には、PCを閉じて余計なエネルギーを消費しないなどの取組みも実践できている。	資源の有効活用及びエネルギー消費については、継続して同程度以上の取組みを心掛けていくとともに、プリントミスや電気の消し忘れなど身近な部分での取組を徹底していく。

様式1

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和4年6月1日

部局等名	市民安全部	課かい名	市民相談課	推進責任者氏名	守村　妙子

（1）目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」（実行計画P10～11）の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	資料等を共有する際は、LOGOチャットを活用し、ペーパーレス化を推進することができた。また、活用状況に応じた両面印刷や集約印刷を推進し資源の有効利用に努めた。なお、個人情報を含む書類については、シュレッダー処理することについて、徹底することができた。
	具体的内容	個人情報を含む書類を焼却処理せず、シュレッダー処理することにより、焼却ごみの削減を図る。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	終業後にゴミ箱を巡視することで、年間を通じで取り組むことができた。
	具体的内容	容器包装プラスチックごみのリサイクルの推進として、プラごみが可燃ごみに混入しないよう、課内のごみの出し方を徹底する。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	常に事務改善を念頭に入れ、定時退庁に努めることができた。最終退出者は事務室及び相談室電気機器の電源が切られていること確認するとともに、定時退庁に努めることにより、エネルギー資料量の削減に努めた。
	具体的内容	事務効率の向上や業務の見直しに努め、時間外勤務の削減、定時退庁に努める。	

【対象：グループ2（所管施設のある課かい）】 ※算定範囲は所管施設全て（グループ4（市立小中学校）、グループ5（指定管理施設）を含む）

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

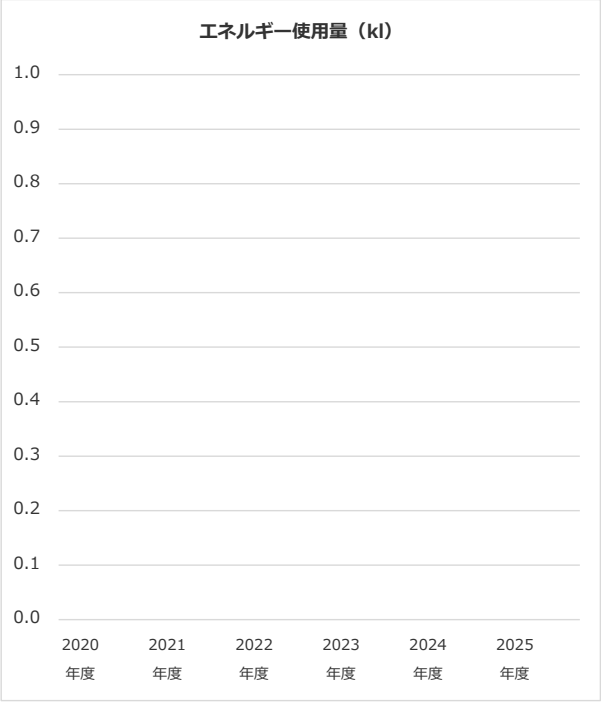
実績	前年度比　　%	達成状況	（選択してください）
達成/未達成の理由			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）						
エネルギー使用量（kl）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比（%）	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組（実行計画P8）

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

様式1

（2）職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月1日に実施、C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課の取組目標及び具体的な取り組みを検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	6月1日に実施（対象者２名参加）C-EMSの概要と当該年度の「重点確認項目」について確認し、課の取組目標及び具体的な取り組みを周知した。
	（選択してください）	

（3）指定管理者･委託業者への協力要請

実施状況		
□ 関係する指定管理者・委託業者はない ■ 要望伝達・協力要請が実施されている □ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

（4）公共工事における環境配慮について（500万円以上の公共工事の場合に記入）

実施状況		
□ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った □ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日　令和5年3月　　日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
廃棄物の削減については、LOGOチャットを活用することによる、ペーパーレス化の徹底をし、個人情報を含む書類については、シュレッダー処理することについて、徹底をすることができた。また、プラごみが可燃ごみに混入しないよう、終業後にゴミ箱を巡視することで、課内のごみの出し方を徹底できた。 エネルギー使用量の削減については、できるだけ時間内に集中し、また事務を効率的に行い、時間外削減に努めた。電気機器の電源については、最終退庁者が確認をすることについて、課内全員の徹底ができた。	今後の様々な業務がDX化していく事は同時に、①「ペーパレス化を推進する事により焼却ごみの削減を図る事」②「常に事務改善を念頭に入れ、定時退庁に努める事」にも繋がることから、DX化の取組を今後も積極的に進めていく。